

『いざや吾友歩を移せ』

令和2年(2020年)4月23日、福岡市立福翔高等学校は創立120周年を迎えました。本校は、明治33年(1900年)、福岡市材木町少林寺内に、福岡市商業学校として開校しました。爾来、輝かしい歴史と伝統を継承し、3万5千名余に及ぶ有為な人材を輩出しています。



福岡商業時代は、明治・大正・昭和・平成と激動の中、100年に亘り、常に進取の気性と自由闊達の気風で、国際的な視野を持つ産業人育成を牽引してきました。平成12年(2000年)、社会情勢の変化や進路希望の多様化に答え、21世紀を支える人材育成を視野に、商業科・情報処理科・普通科から総合学科へ改編し、福翔時代がスタートします。学校の在り様は大きく変化しましたが、「熱・意気・力」の校訓の下、福商魂は脈々と受け継がれ、更なる開花を期して、セカンドステージ、サードステージと改革が進み、令和にはサードステージ第2章へと進化を続けています。

この120年を振り返ると、先人によって受け継がれてきた伝統を継承しながら、新たなものを創造していくことの重要性を感じ取ることができます。私たちは自ら学ぶ力を持ち、たゆまず研鑽を積みねばなりません。輝く未来を信じて、歩み続けることが肝要です。

創立120周年を迎え、前進し続ける福翔高等学校・福翔生でありたいと思います。校歌の一節に『いざや吾友歩を移せ』とあるように、恐れず一歩足を踏み出しましょう。

令和2年4月23日

福翔高等学校長 佐伯 哲郎